
その野望

紫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

その野望

【Nコード】

N9375K

【作者名】

紫

【あらすじ】

馬鹿になると決めた男の出版

カーテンの隙間から初夏の木漏れ日が差し込み、その光の筋は彼の眉間に光の玉を作っている。

布団の中では、きつちりと気をつけの姿勢を保ってはいるが、彼の寝顔は安らかそのものだ。

枕元には『馬鹿な男と心意気』と達筆な題銘の本が布団とは水平に置かれている。

「んひ（笑）んが！！」

彼は何時ものように飛び起きる。謎の笑い謎の奇声を残して。

ここから彼の1日が始まるのだ。

寝ぼけ眼に口元の半笑いを張り付け、気恥ずかしそうを頭を掻く。

「さつて〜今日もガンバルソ」

半笑いは両腕で力瘤を作るようにアピールするが、それを見ていたのは壁に掛けたポスターの主役でもあるコニ○キだけだった。

彼は早速動き出した。年季の入ったCDラジカセから有名なボクシング映画のテーマソングを流すと、コップに入った生卵を一気に飲む。

そのまま洗面所に駆け込むと、全て吐き出す。

ここでも彼は満足そうだった。

人気キャラクターがプリントされたお気に入りシャツと、七分丈のチノパンを身に纏うと颯爽と玄関を飛び出した。

「おはよっす、おはよっす！」

彼は笑顔で電柱、猫、ごみ袋、おばちゃんに挨拶をかける。

どう分類しているのかは不明だが、決して男、あるいは雄には声を掛けない。

彼の口元には薄ら笑いが張り付いているが、目は真剣そのもの。目の前に抜ける住宅街、ブロック壁の間を確かな足取りで進んで行く。

「うへへ、いい天気っすね！ひよっひよーう」

口に出す度、お魚をくわえた猫も、愉快的主婦も逃げてゆく。それでも彼の快進撃は続く。

どうやら彼の目的地は自宅から3キロ先にあるスーパーのようだ。住宅街を何度か右左折すると見えてくる。

広くも狭くもない金網に囲まれた駐車場を抜け、迷い無く店内に入る。

まず彼の目に映ったのは試食品の漬物だ。

人切れ爪楊枝一本の割合で消費し、即座に間食する。

次は新製品のウインナーだ、同様に間食する。

店内を一回りし、店員の目が剣呑な雰囲気醸し出した頃

彼はトイレに飛び込んだ。個室に駆け込むと、彼は一息ついた。

呼吸は荒いが、口元には笑みを浮かべている。

今までとは別の表情を浮かべ、尻ポケットから四つ折りにした紙を取りだし、満足そうに眺める。

彼がこの計画のため、かの本から抜粋した、馬鹿への道が書かれている。

- ・先も過去も考えるな
- ・常に理性を外せ
- ・常識、非常識、共に考えるな
- ・考えつく限りの面白いことをしろ。

昨晩何度も読み返し、頭に叩き込んだものだ。

「俺は、出来てるだろうか…」

物憂げな表情で呟くと、首を振る。

すぐに口元に半笑いを取り戻すと、トイレを後にする。

「もりもりたつくさーん出ました！」

完

(後書き)

見切り発車の初小説です。

無いとは思いますが、続きが気になる方はコメント下さい。

次は構想練って長編書こうと思います。

是非読んでやってください

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9375k/>

その野望

2010年10月11日10時44分発行